

令和5年11月7日（火）

## アレのアレ（阪神タイガース日本一）

プロ野球の「日本シリーズ2023」は最終戦となる第7戦までもつれました。決戦の日11月5日セリーグ王者の阪神タイガースがパリーグ王者オリックス・バファローズを7―1で破り38年ぶり2度目の日本一に輝きました。

優勝の歓喜の胴上げに、背番号24のユニフォームが同期入団の岩崎とともに胴上げされたのを目撃した生徒も多いと思います。この24番のユニホームは、脳腫瘍の為今年7月に28歳で亡くなった鹿児島出身の横田慎太郎さんが現役時代につけていたものでした。球団が遺族から預かった当時のユニフォームだけではなく、特別に今シーズンのデザインユニホームの「24」を、最終戦でも試合中ベンチ裏に飾っていたそうです。

2013年に阪神タイガースにドラフト2位で入団した横田慎太郎選手は、抜群の身体能力で将来を期待されていました。しかし横田選手が22歳の時、脳腫瘍の宣告を受けます。18時間に及ぶ大手術の後、2年間の闘病とリハビリ生活に入ります。しかし、脳腫瘍の後遺症に伴う視力低下に苦しみ24歳で引退しました。

1096日ぶりの試合となった2019年9月26日は、横田選手の引退試合でした。横田選手のプロ野球人生で最後となるプレー「奇跡のバックホーム」は伝説となりました。

横田選手は今年7月18日の朝、脳腫瘍のために亡くなりました。28歳でした。横田選手の登場曲は、ゆずの「栄光の架橋」でした。横田選手の葬儀の際も流れたそうです。日本一を決めた5日も最終回の守備の前には「栄光の架橋」を全員で大合唱し、涙するファンの姿もありました。横田選手の背番号「24」は、チームとともに戦いました。

半信半疑の生徒もいるかもしれませんが、阪神タイガースは、パリーグ王者のオリックス・バファローズを破りアレのアレ「日本一」になりました。

横田選手の著書である「奇跡のバックホーム」は2021年5月に幻冬舎から発売されています。是非図書室で借りたり、購入したりして読んでみてください。